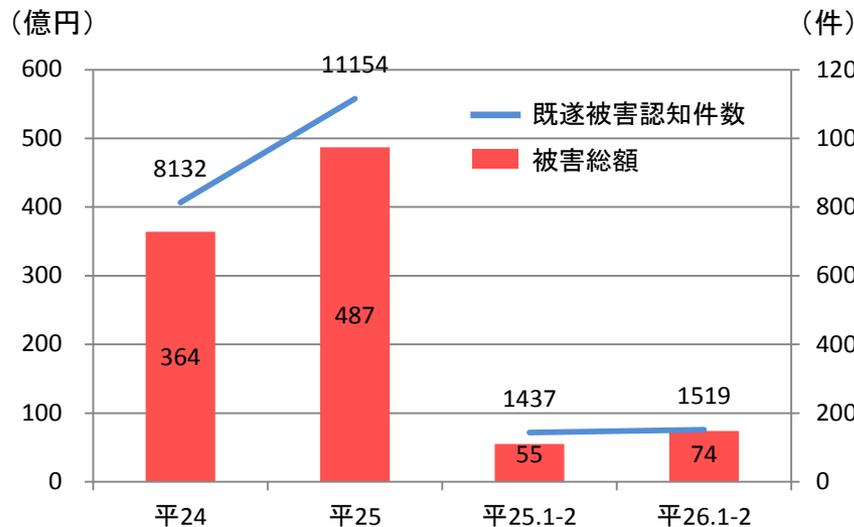
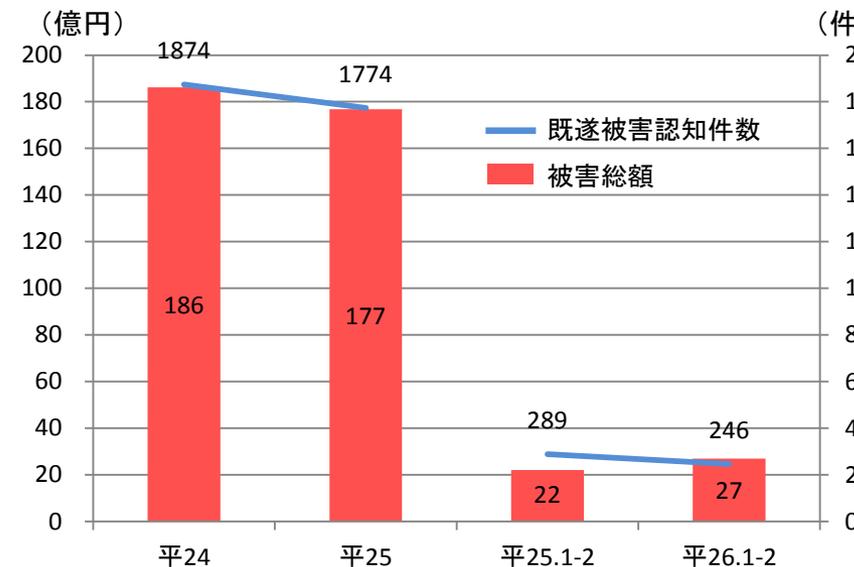


# 特殊詐欺被害の認知状況

## ① 既遂被害の推移

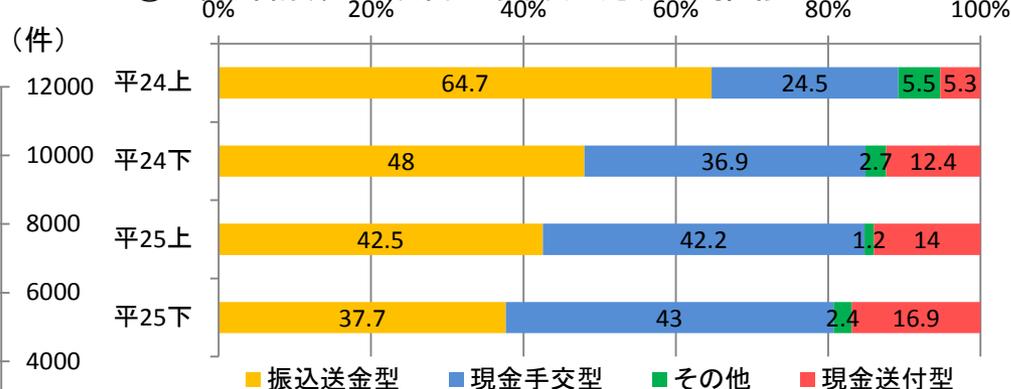


## ② 金融商品取引名目詐欺被害の推移

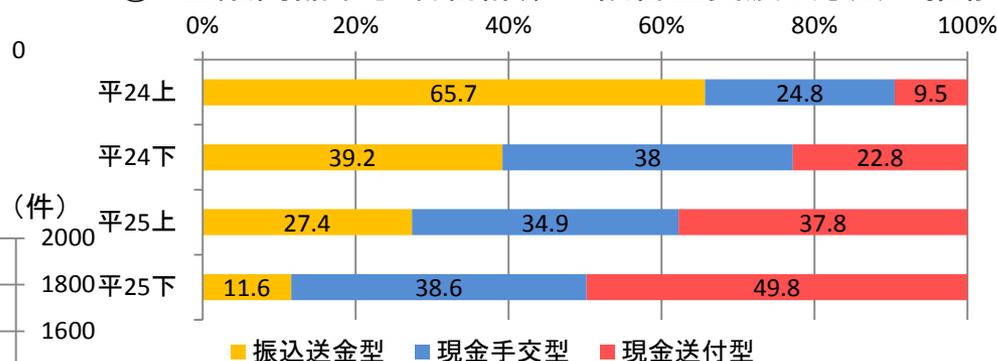


# 被害金の受渡し方法

## ① 特殊詐欺の被害金受渡し方法の推移



## ② 金融商品取引名目詐欺の被害金受渡し方法の推移



特殊詐欺の被害金の受渡し方法は、従来、振込送金がほぼ100%であったが、

- 金融機関による窓口での振込・引出時の被害防止
- 一日当たりATM利用限度額の引下げ
- 金融機関による法人名義口座開設時審査の厳格化
- 警察による犯罪利用口座凍結の求め
- 凍結口座名義人情報の金融機関への提供・活用

により、振込送金による被害は相対的に減少し、現金手交及び現金送付(郵便・宅配)が増加してきている。

# 「レターパック、宅配便で現金送れ」は、すべて詐欺

レターパックや宅配便で現金を送ることは郵便法や各事業者の約款で禁じられています。加えて、真っ当な商取引では、送金の有無・金額をめぐる事後の紛議を防ぐため、送金記録の残らないレターパックや宅配便で現金を送ることはあり得ません。**どんな名目であれ「レターパック、宅配便で現金送れ」は、すべて詐欺の手口**なので、絶対に送らないようにしてください。

現金書留であれば、現金の郵送自体は可能ですが、被害者に現金を郵送等させてだまし取る手口の詐欺事件が急増しています。下記の住所は、実際に被害者が現金を送ってしまった宛先ですので、現金書留による現金郵送であっても、宛先住所が下記住所ではないか事前に確認してください。

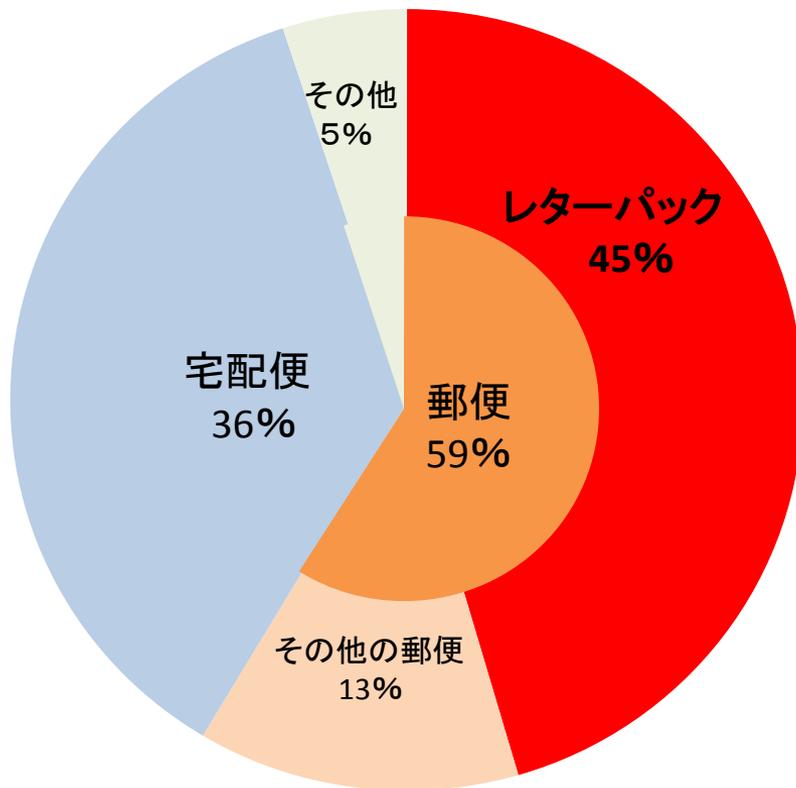
また、下記の宛先以外であっても、よく知らない相手に現金を郵送すれば詐欺の被害に遭ってしまう可能性が高いので、郵送前に、最寄りの警察(電話番号は#9110)に遠慮なく御相談ください。

最新の住所一覧については、次のサイト(警察庁ホームページ)を御参照ください。

URL: [www.npa.go.jp/pressrelease/souni/furikome\\_jyusyo.pdf](http://www.npa.go.jp/pressrelease/souni/furikome_jyusyo.pdf)

## 現金送付型特殊詐欺

1,871件(平成25年)



## 被害金送付先情報の活用

